

I. 広東省

1. 政府の権限委譲改革に関する全省テレビ電話会議の開催

●9日午前、政府の権限移譲渡を推進しサービスの合理化と結びつける改革に関する全国テレビ電話会議終了後、省政府は直ちに許瑞生・副省庁主宰の全省テレビ電話会議を開催。朱小丹・省長、鄧海光・副省長、何忠友・副省長、袁宝成・副省長、招玉芳及び陳雲賢・省党組織メンバーが出席。全国会議の精神を学び貫徹し、関連の改革をさらに推進していくための動員・手配を行なった（5月10日付『南方日報』）。

2. 張曉強・中国国際経済交流センター常務副理事一行が広東省を視察

●10日午前、中央の委託を受けた張曉強・中国国際経済交流センター常務副理事率いる調査チームが広東省を訪れ、同省の開放型新経済体制構築の進捗状況について特別評価を実施（5月11日付『南方日報』）。

3. 国務院安全生産監督管理委員会第6巡視チームが広東省で点検

●10日、国務院安全生産監督管理委員会の統一スケジュールに基づき（調査期間は5月10日～6月24日）、上記巡視チームが広東省で安全生産の点検を実施。10日午前、広州市で報告会を開催。袁宝成・副省長が出席し、業務状況について報告。胡存智・チームリーダーは不法・違法な生産経営等に関する通報を重点的に受理するよう述べた（5月11日付『南方日報』）。

4. 胡春華・省党書記がカナダを訪問

●8日～10日、胡春華・省党書記率いる広東省代表団がカナダを訪問し、現地時間9日午前、中国（広東）－カナダ経済貿易協力交流会に出席。10日午前、胡書記はトルドー・首相、リーガン・下院議長等と会談。胡書記は、このたびのカナダ訪問は主に広東省とカナダの地方友好交流を強化し、経済貿易協力を深化させ、さらに習近平・国家主席とトルドー・首相の重要なコンセンサスを実行するためであると表明（5月12日付『南方日報』）。

5. 中央宣伝部が深圳市で座談会を開催

●12日、中央宣伝部が深圳市で新発展理念で文化面での改革発展を導くことに関する座談会を開催。劉奇葆・中央宣伝部長は新たな発展理念で文化メンテの改革発展における新たな強みを勝ち取ると強調。深圳滞在期間中、劉宣伝部長は第12回中国国際文化産業博覧交易会を見学。朱小丹・省長、馬興瑞・深圳市党書記も同行（5月13日付『南方日報』）。

●11日～13日、劉奇葆・中央宣伝部長が広東省を視察し、イノベーション・起業のため、力強い効果的な世論のサポートを提供していくよう強調（5月14日付『南方日報』）。

6. 李建国・全人代常務委員会副委員長一行が広東省を視察

●先頃、李建国・副委員長率いる同委員会水資源・治水関連法執行検査チームが広東省（広州市、江門市）で検査を実施。李副委員長は法に基づく治水及び水資源管理の水準を適切に向上させるよう指示。朱小丹・省長、黄龍雲・省人代常務委員会主任が同行（5月13日付『南方日報』）。

●12日～13日にかけて、李建国・中華全国総工会主席が広東省（珠海市）を視察し、根気強く末端労働組合の組織づくりを強化し続けなければならないと強調（5月14日付『南方日報』）。

7. 省政府常務会議の開催

●13日午後、朱小丹・省長主宰の上記会議が開催され、価格メカニズム改革、省東部港湾群の発展、インターネット金融に潜むリスクに対する特別対策の展開、都市計画建設管理の強化、知的財産権の保護強化、金融サービスのイノベーションによる発展等について検討（5月14日付『南方日報』）。

8. 朱小丹・省長が珠江デルタ国家森林都市群建設状況を視察

● 11日～13日にかけて、朱小丹・省長一行が佛山市、中山市、江門市等を訪れ、珠江デルタ国家森林都市群建設の進捗状況について視察。鄧海光・副省長が座談会を主宰（5月14日付『南方日報』）。

9. 第12期省人代常務委員会第77回主任会議の開催

● 13日午後、黃龍雲・省人代常務委员会主任主宰の上記会議が開催され、人代の立法措置を通じた情報化建設の整備、発展を絶えず推進していくよう強調（5月14日付『南方日報』）。

10. 胡春華・省党書記が米国を訪問

● 10日～14日にかけて、胡春華・省党書記率いる広東省代表団が米国（ミシガン州、マサチューセッツ州、ニューヨーク州）を訪問。各州と多分野における実務協力・交流をさらに強化し、友好関係を促進するとともに、習近平・国家主席とオバマ大統領が米・中地方経済貿易協力を深めることで合意した重要なコンセンサスを実行した。崔天凱・在米中国大使、許勤・深圳市長も同行（5月15日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. ASEM相互連結メディア対話会が開幕

● 9日午前、広州市で上記対話会が開幕し、銭洪山・外交部長助理、郭衛民・国務院新聞弁公室副主任、モンゴル・ASEM首脳会議準備委員会顧問等が出席。温国輝・市長が開幕式で挨拶。式に先立ち、任学鋒・市党書記が銭助理、郭副主任等外交部、国務院新聞弁公室幹部と、温国輝・市長がパキスタン外務省幹部等来賓とそれぞれ会談（5月10日付『広州日報』）。

2. 市政府常務会議の開催

● 9日午後、温国輝・市長主宰の上記会議が開催され、「珠江デルタ計画綱要実施のための広州市2016年重点任务」、「新時代における愛国衛生運動を全面的に深化させるための広州市実施案（2016年～2020年）」等について審議し採択（5月10日付『広州日報』）。

3. 温国輝・市長が空港経済区、従化区、花都区を視察

● 先頃、温国輝・市長が空港経済区、従化区、花都区を訪れ、国際航空ハブ建設及び広州市北部区域の経済・社会発展状況を視察。唐航浩・市政府秘書長等も同行（5月12日付『広州日報』）。

4. 全人代常務委員会予算委員会調査チームが広州市を視察

● 11日、新予算法の実施を貫徹するため、劉偉・全人代常務委員会予算委員会副主任率いる調査チームが広州市を視察し、座談会を開催。陳建華・市人代常務委员会主任が広州市の経済・社会発展状況、市人代による予算・決算の審査・監督状況について紹介（5月12日付『広州日報』）。

5. 市党常務委員会議の開催

● 12日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議が開催され、「2016年党建設業務の要点」、「広州市・区・鎮（街）人代業務及び建設の強化に関する実施意見」について審議し採択（5月13日付『広州日報』）。

6. 任学鋒・市党書記が一般市民の問題に直接対応

● 12日、任学鋒・市党書記が市人民来訪接待庁で計3組のべ10人の一般市民に対応。市民側が訴えた問題は村の仕事の進め方の公開、市内に取り残された村を整備するためにいったん立ち退かされた人たちが元の場所に戻る段取り、都市管理等に関連する問題等だった（5月13日付『広州日報』）。

7. 省人代常務委員会宣伝講演チームが広州市でプレゼンテーション

●13日、全省人代業務会議の精神を深く貫徹し、「新たな情勢下における人代業務の強化に関する広東省党委員会の決定」を推進・実施すべく、張広寧・省人代常務委員会副主任が同委員会第一宣伝講演チームを率いて広州市で同「決定」の精神についてプレゼンテーションを行なった。陳建華・市人代常務委员会主任がとりあえずのまとめでコメントした（5月14日付『広州日報』）。

8. 広州代表団がシドニーを訪問

●12日～15日にかけて、王東・副市長率いる広州代表団が豪州・シドニー市を訪問し、広州市と同市の友好都市締結30周年を祝賀。「広州ウィーク」関連イベントを行なった（5月15日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 光明新区業務チームが総括及び状況報告会を開催

●6日、市党委員会、市政府が派遣している光明新区業務チームが総括及び状況報告会を開催し、李華楠・市党副書記が長期的に効果を持続できる業務メカニズムを築き、関連する問題を引き続きフォローし解決していくよう表明（5月9日付『深圳特区報』）。

2. 馬興瑞・市党書記が華星光電を視察

●9日午後、馬興瑞・市党書記が華星光電技術有限公司を視察し、会社の状況や新世代液晶パネルの生産ラインの計画状況について確認し、事業用地を視察（5月10日付『深圳特区報』）。

※華星光電技術有限公司：深圳市が光明新区ハイテク技術パークで推進する重点プロジェクトの1つ。

3. 市党委員会統一戦線工作指導グループ全体会議の開催

●10日午前、馬興瑞・市党書記主宰の上記会議が開催され、習近平・総書記の統一戦線に関する一連の重要講話の精神、党中央・省党委員会の政策について学習を深め貫徹すべく、「深圳市党委員会統一戦線工作指導グループ（市民族宗教工作協調指導グループ）業務規則」等について審議（5月11日付『深圳特区報』）。

4. 馬興瑞・市党書記が文博会の準備作業を点検

●10日午後、馬興瑞・党書記が第12回中国（深圳）国際文化産業博覧交易会（文博会）の準備作業を点検した際、関係部署は科学的に組織し、周到に手配し、緊密に協力し合い、全力で各準備作業に取り組み、今回の文博会の成功を確保するよう強調（5月11日付『深圳特区報』）。

●12日午前、文博会が開幕。文化部、商務部、国家新聞出版放送総局、中国国際貿易促進会、省政府、深圳市政府の共催。期間は5日間。出展者数は2,297団体（前回比11団体増）。全国31省・自治区・直轄市及び香港・マカオ・台湾がすべて出展し、海外からは40の国と地域から115団体が出展（5月12日付『深圳特区報』）。

5. 馬興瑞・市党書記が南山区を視察

●10日午後、馬興瑞・市党書記一行が南山区を訪れ、安全な生産にかかる業務状況を点検（5月11日付『深圳特区報』）。

※南山区：深圳市でハイテク産業が最も発展した地区。住友電気工業、サンヨー、オリンパス、IBM、アルカテル、サムスン等、世界トップ500企業が50社以上進出。

6. 深圳市とシアトル市が友好協力プロジェクトに署名

●11日午後、深圳市と米・シアトル市の友好協力プロジェクト署名式が行われ、馬興瑞・市党書記がシアトル市長と会談（5月12日付『深圳特区報』）。

7. 艾学峰・副市長が在広州シンガポール総領事一行と会談

● 11日、艾学峰・副市長が在広州シンガポール総領事一行と会談。シンガポールを結節点として「一帯一路」国家戦略をさらに有効な形で推進したく、シンガポールのイノベーション型企業、現代サービス企業の深圳市への進出を歓迎すると表明（5月12日付『深圳特区報』）。

8. 深圳市に中電科の新型スマート・シティ研究院が開設

● 13日午前、深圳市に中国電子科学技術集団（CETC）の新型スマート・シティ研究院が設立され、馬興瑞・市党書記、樊友山・中電科集团公司総経理がオープニング・セレモニーに出席。福田区、羅湖区が同研究院と協力協定に署名（5月14日付『深圳特区報』）。

9. 王一鳴・国務院発展研究センター副主任一行が深圳市を視察

● 12日～14日にかけて、王一鳴・国務院発展研究センター副主任一行が深圳市を訪れ、経済体制改革の進捗状況について総合的かつ全体的な評価を実施（5月15日付『深圳特区報』）。

10. 「一帯一路」文化発展フォーラムの開催

● 14日、深圳コンベンションセンターで「親・誠・恵・容、ウィンウィン」をテーマとする2016年「一帯一路」文化発展フォーラムが開催され、沿線国家代表、国家関連部門指導者、地方政府文化担当者、企業家、学者、記者等300人余りが出席。中国文化メディア集団の「一帯一路」プロジェクト署名式が行われ、11のプロジェクト（総投資額30億元）が深圳市で実施予定。併せて、「一帯一路」文化発展シンクタンクが設立された（5月15日付『深圳特区報』）。